和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第１５号

2019年12月10日

2019 年度◆盛夏の記録◆

第 56 回全国国際教育研究大会

高校生が国際理解や国際協力、SDG s 関連の活動について報告と研究発表を行う大会が、８月８・９日に奈良市で開催されました。

本校からは２年生の小串楓子さんが英語弁論大会に出場しました。また３年生の大木優実さん、芝﨑理紗さん、玉置千也さん、出口翔竜さん、畑崎咲良さんが研究発表会に出場しました。

結果報告

第３９回高校生英語弁論大会

小串楓子　演題「Connect Canada and Japan!」　全国国際教育研究協議会会長賞

第８回国際理解・国際協力に関する生徒研究発表会

大木優実、芝﨑理紗、玉置千也、出口翔竜、畑崎咲良

演題「HIDAKARD～避難所運営シミュレーションカードゲーム～」

国際理解・国際協力奨励賞

活動を通して学んだこと

同年代の高校生の熱意　２年６組　小串　楓子

２日間にわたって、個人のスピーチと学校の活動発表を聞いてきました。両日ともにとても刺激のある大会でした。特に私の参加した初日のスピーチ大会では、同じ高校生の様々な経験をもとに構成されたスピーチを聞いて、彼らの熱意に触れました。内容は、海外留学や国際交流の経験から学んだ平和についてや環境問題、ジェンダー問題に至るまで様々です。皆それぞれ意見を持ち、自分がこれからどうするべきかを語る姿は、同じ高校生でも輝いて見えました。スピーチ大会が終わった後の交流会では、共に参加した高校生とレクリエーションをして交流を深めることができました。そこでできた友達は、次に来る言語は「アラビア語」だからアラビア語を独学で勉強しているらしいです。熱意ある同年代の人と出会えて、私も自分の意見を自分のオリジナリティを持って話す大切さを学びました。